

## 第 68 回担当理事会議事要録

日 時 2016 年 4 月 10 日（日） 10：00～16：00

場 所 一般財団法人 ゆうちよ財団会議室  
〒101-0061 東京都千代田区三崎町 3-7-4

出席者	会 長	米山 高生
	副会長	朝日 讓治
		大藪 千穂
	総務担当理事	天野 晴子
	同	小笠原浩一
	同	鴨池 治
	同	小林 毅
	同	菅原 浩信
	同	永田 邦和
	同	西脇 廣治
	同	宮村 健一郎
	渉外担当理事	上村 協子
	同	富樫 光隆
	財務担当理事	石田 成則

(14 名)

事務局 芹沢 佐知子

### 【報告事項】

- 1 退会について
- 2 掲載論文募集要領の改訂について
- 3 学会誌「生活経済学研究（第 44 巻）」の編集方針について
- 4 第 13 回（平成 28 年度）日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について
- 5 2016 年度部会運営委員会委員の委嘱について
- 6 その他

### 【審議事項】

- |            |                           |
|------------|---------------------------|
| (第 1 号議案)  | 2015 年度事業報告及び同収支決算見込みについて |
| (第 2 号議案)  | 2016 年度事業計画及び予算について       |
| (第 3 号議案)  | 2016 年度第 32 回研究大会について     |
| (第 4 号議案)  | 2017 年度第 33 回研究大会開催について   |
| (第 5 号議案)  | 2016 年度共同研究助成の実施について      |
| (第 6 号議案)  | 名誉会員の推薦について               |
| (第 7 号議案)  | 新入会員の申込み審査について            |
| (第 8 号議案)  | 生活経済学会会則・規程の改正について        |
| (第 9 号議案)  | 第 17 期理事選挙管理委員の推薦について     |
| (第 10 号議案) | 生活経済学会活性化委員会の各施策等について     |
| (第 11 号議案) | 活性化推進経費の取り扱いについて          |

## 【報告事項】

### 1 退会について

2015年度の退会者について会長から説明があった。4月7日までに「退会届」の提出・申出があった個人会員計26名及び賛助会員1法人の退会を確認した。また、生活経済学会会則第7条(2)に基づき、学会費長期未納者計8名を退会したものとみなすことを確認した。

### 2 掲載論文募集要領の改訂について

学会誌『生活経済学研究』の投稿・編集ルールの改善の必要性につき、編集委員会として意見の取りまとめと今後の取り扱いについて検討していることから、経緯と途中経過につき編集委員長から報告があった。

### 3 学会誌「生活経済学研究(第44巻)」の編集方針について

学会誌『生活経済学研究(第44巻)』について編集委員会として意見の取りまとめと第44巻の取り扱いについて検討している。経緯と途中経過につき編集委員長から報告があった。

### 4 第13回(平成28年度)日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について

日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について会長より説明がなされた。

### 5 2016年度部会運営委員会委員の委嘱について(会長)

2016年度部会運営委員会委員について会長より報告があった。部会運営委員には委嘱状を発出するので、各部会長は事務局に新委員リストを提出することとした。

### 6 その他

生活経済学会が加入している「生活科学系コンソーシアム」の活動について会長より報告があった。

## 【審議事項】

### (第1号議案) 2015年度事業報告及び同収支決算見込みについて

議案書、及び「2015年度事業報告及び収支決算見込み」について大藪副会長(事業報告)、朝日副会長(収支決算報告)より説明がなされ承認された。

### (第2号議案) 2016年度事業計画及び予算について

議案書に基づき大藪副会長(事業計画)、朝日副会長(予算)より説明がなされ承認された。2016年度事業計画は次の通り。

#### 第1 2016年度事業計画

##### 1. 研究大会の開催

第3号議案を参照。

##### 2. 部会の開催

各部会は、開催予定日・開催場所を5月末までに事務局に連絡する。なるべく開催日の重複をさけること。

北海道部会は12月17日に北海学園大学で開催する。

3. 『生活経済学研究』の発行  
第44巻および第45巻を発行する。
4. 学術交流委員会の活動について  
・生活経済を軸とした、他学会や公的機関、諸団体との相互交流
5. 企画委員会の活動について  
・生活経済学の体系化に関する調査・研究・編纂の継続  
・成果の刊行（「地域社会と生活経済（仮題）」編纂PT、2016年12月末：予定）

## 第2 2016年度収支予算(案)

収入については2016年度も会費収入向上に向けた取組みが最重要課題であることが説明された。

### (第3号議案) 2016年度第32回研究大会について

2016年度研究大会について、別添資料4に基づいて、中四国部会長から説明があった。また、今回共通論題及びテーマ別分科会を一般公開とする旨報告があった。

開催日：2016年6月25日（土）～26日（日）

会場 県立広島大学（広島市）

共通論題「これからの消費生活における適切な選択：消費者教育の視点から」

自由論題分科会

テーマ別分科会

### (第4号議案) 2017年度第33回研究大会開催について

2017年度研究大会について、東北部会長から説明があった。6月の研究大会時までには開催日程等を確定させ発表することとした。

### (第5号議案) 2016年度共同研究助成の実施について

2016年度共同研究助成の実施について、会長より説明があった。

#### 1. 今年度のスケジュール

募集期間 4月1日～5月31日（事務局受付締切：郵送の場合は当日消印有効）

審査決定 6月に開催される担当理事会で審査・決定

研究期間 6月～5月

#### 2. 実施概要等

- ① 研究終了年度の研究大会及び部会での報告、学会誌掲載用「共同研究助成論文」の提出、会計報告書の提出を義務付けることとする。
- ② 競争的資金とするために、4件程度の採用枠を想定することとする。
- ③ 1部会から複数申請する場合は、部会において優先順位を付け、部会で申請をとりまとめた上で、事務局に提出することとする。
- ④ 学会HPにおいて周知するほか、部会会員への周知することとする。

### (第6号議案) 名誉会員の推薦について

関東部会長より2名の候補者の推薦があり、審議の後、承認された。

村本 孜 氏（成城大学）

川島 美保 氏（首都大学東京）

### (第7号議案) 新入会員の申込み審査について

新入会員3名より入会申し込みがあり、審議の後、承認された。

**(第8号議案) 生活経済学会会則・規程の改正について**

会則・規程の改正について会長より説明があり、審議の後、承認された。この後、理事会、総会での審議を行う。

**(第9号議案) 第17期理事選挙管理委員の推薦について**

第17期理事選挙実施について会長より説明があった。選挙管理委員会は、理事2名及び理事以外の会員3名をもって構成し、その委員は、担当理事会の議決を経て、会長が委嘱するとの規定ある。すでに5名については規程に基づき人選し、内諾を得ていることから、委嘱については会長に一任する旨承認された。

**(第10号議案) 生活経済学会活性化委員会の各施策等について**

会長より生活経済学会活性化にかかる取り組みのうち、「継続審議」となっている項目について説明があり、またその進捗状況などについて検討することが諮られた。いくつかの検討課題が出され、実施済みの施策についても、運用のあり方について討議された。

**(第11号議案) 活性化推進経費の取り扱いについて**

編纂プロジェクトチームの内田リーダーがオブザーバー参加し、現在進捗中の『地域社会と生活経済（仮題）』編纂出版計画について説明を行った。